令和6年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

海部東部消防組合管理者 村上浩司

令和7年6月1日

1 全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	88.3%
任期の定めのない常勤職員以外の職員	93.3%
全職員	90.0%

2 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
消防長級 (8級)	—
次長・署長・消防司令長級 (7級)	—
課長・主幹級 (6級)	—
課長補佐級 (5級)	—
係長級 (4級)	102.7%

(2) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
36年以上	—
31～35年	—
26～30年	80.8%
21～25年	100.4%
16～20年	78.4%
11～15年	—
6～10年	92.2%
1～5年	87.3%

【説明欄】

各欄「—」部分については、該当する女性職員がいない。
(2) 勤続年数別男女差について、21～25年に該当する女性職員は2名おり、2名とも救急隊に所属しているため、出勤等の手当の関係で男性職員よりやや上回っている。(100.4%)
16～20年目については、該当する女性職員2名の内1名が育児短時間勤務中であるため、支給額が6割程度となるため差異が生じている。(78.4%)
1～5年目については、5年目の職員がいないため差異が生じている。(87.3%)

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。